

司法福祉学会第25回全国大会「2025 京都大会」プログラム

大会実行委員会

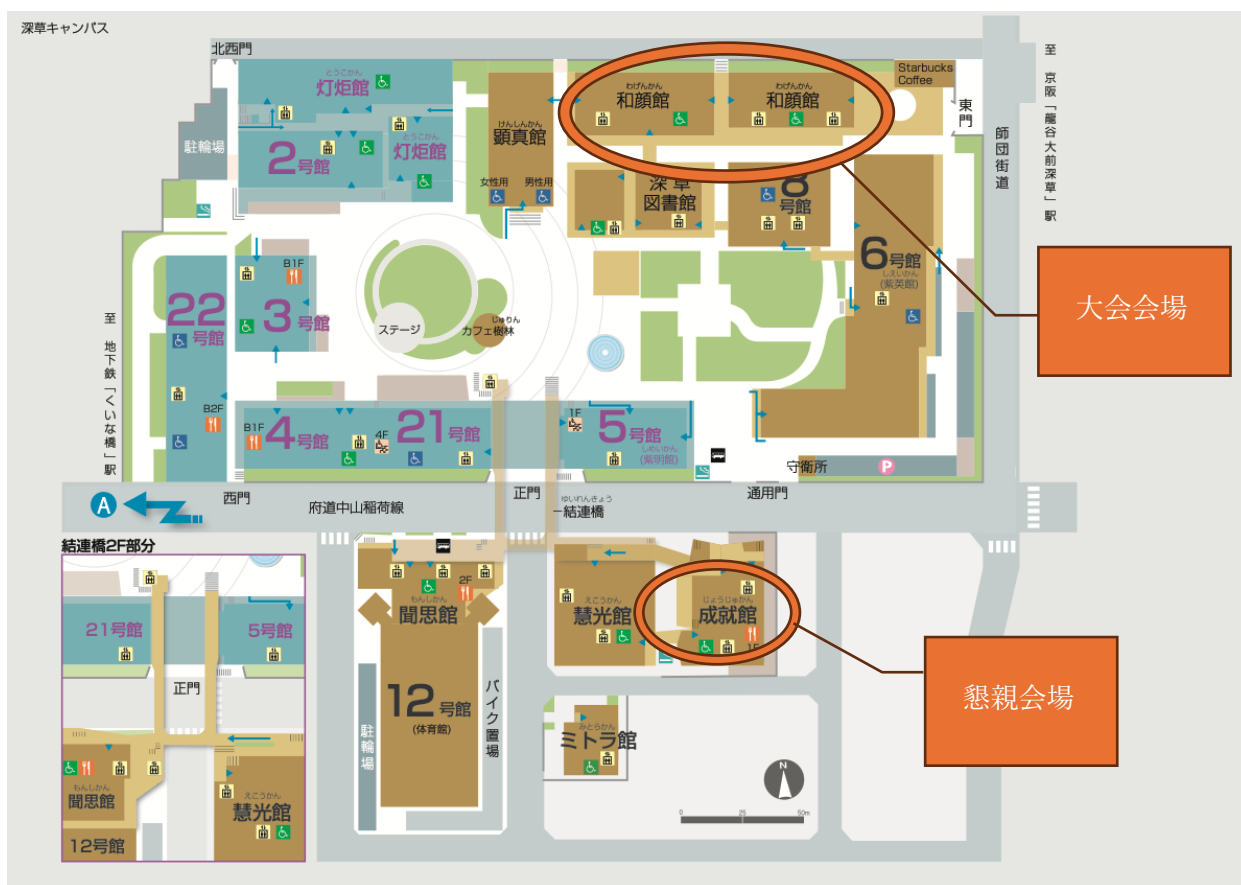
■ 日時

2025年9月27日(土)～28日(日)

【第1日目】9月27日(土)	【第2日目】9月28日(日)	
	【午前の部】 9:30～12:00 企画分科会 1～4 10:00～12:00 自由研究報告 1～4	ポスター発表 (在席責任時間 12:00～13:00)
12:00～ 受付開始	【午後の部】 13:30～16:00 企画分科会 5～7 13:30～15:00 自由研究報告 5～7	
13:15～13:30 開会挨拶		
13:30～16:30 大会シンポジウム		
16:45～17:30 総会		
17:45～19:00 懇親会		

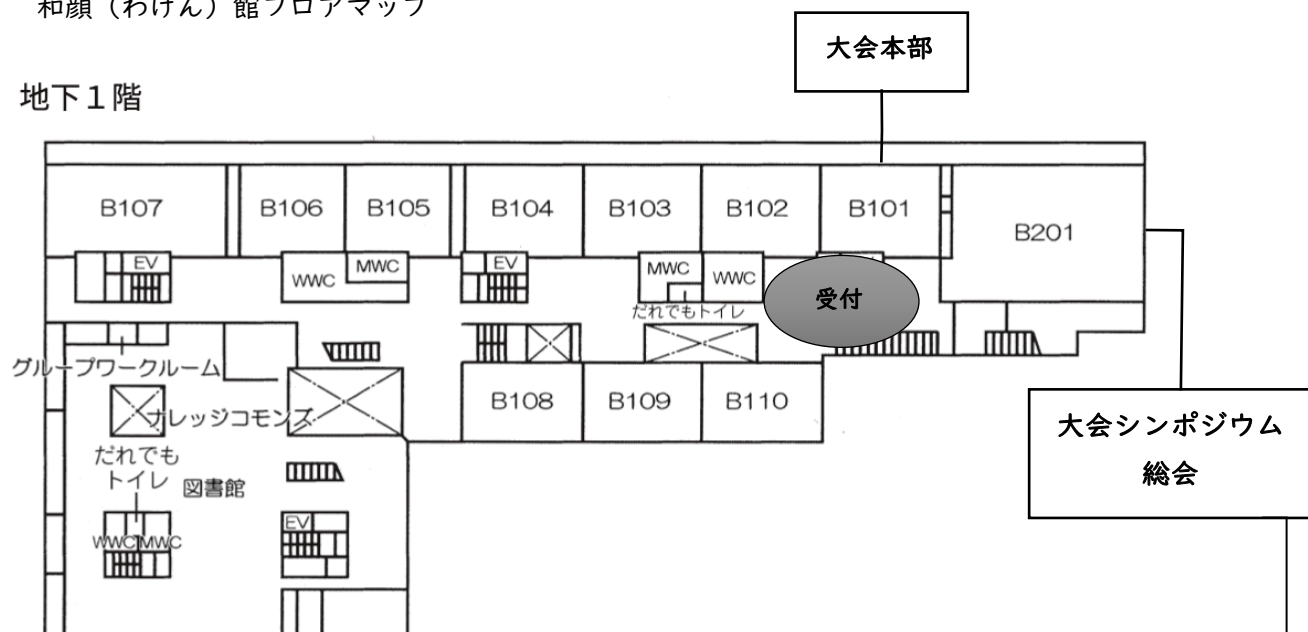
■ 会場アクセス

龍谷大学深草キャンパス 和顔館(わげんかん) 地下1階・地下2階

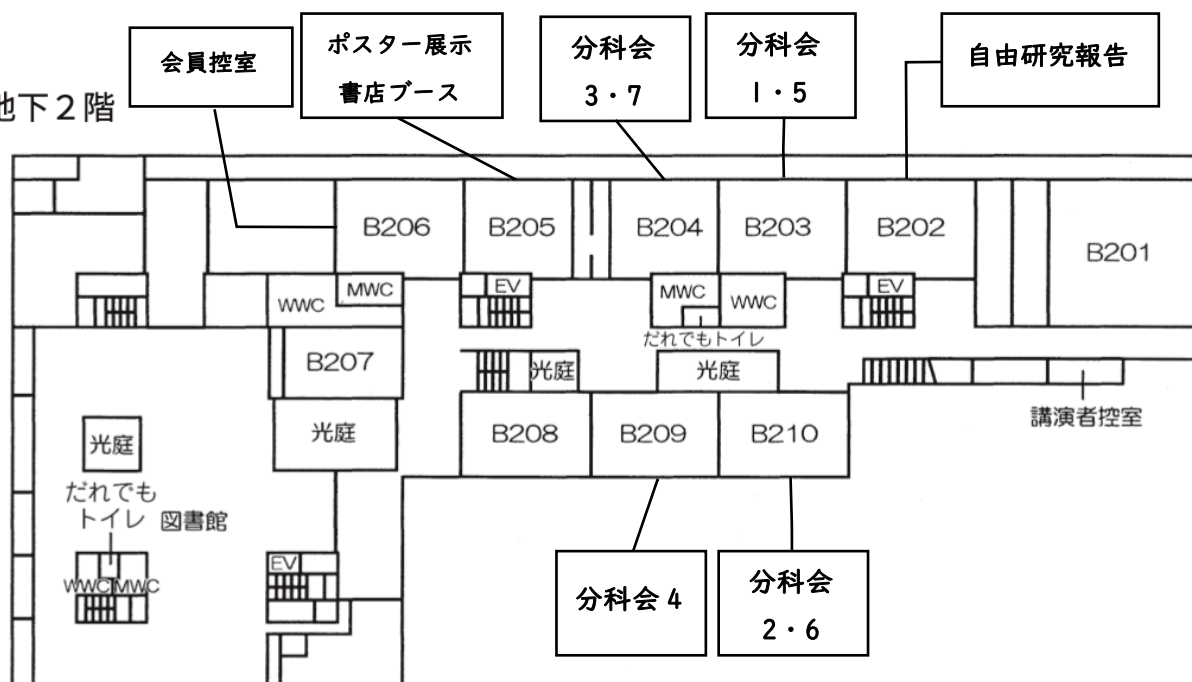


■ 和顔（わげん）館フロアマップ

地下1階



地下2階



■ 大会シンポジウム

テーマ：発達障害等を抱える触法行為者への更生支援の新たな展開

企画者：中島 学（福山大学）

会場：和顔館 B201

■ 企画分科会

【午前の部】 9：30～12：00（150分）

会 場	企画者	題 目
分科会1 B203	山本千晶	総合的・包括的な性暴力被害者支援に向けて －円滑な多機関連携のあり方を探る
分科会2 B210	森久智江	刑事施設職員との「対話」を基盤とした研修の 実践と展望
分科会3 B204	飯田智子	法律事務所で働くソーシャルワーカーの視点 ～司法と福祉の連携・協働の課題と可能性を考える～
分科会4 B209	齋藤知子	児童虐待死亡事例の裁判記録からみる 子どものアドボカシー

【午後の部】 13：30～16：00（150分）

分科会5 B203	水藤昌彦	離脱と回復のためのナラティブ －当事者としての経験と場づくりに着目して
分科会6 B210	三垣明子	行き場のない非行少年を支える官民協働の実践と課題 －少年友の会と家庭裁判所調査官の連携を通して－
分科会7 B204	島谷綾郁	矯正施設の中のソーシャルワークの実践と倫理 －やりがい・ジレンマ、その未来－

■ 自由研究報告

【午前の部】 会場：B202（各20分報告＋7～8分質疑）

予定時間	報告者	題 目
No.1 10:00-10:30	藤森一浩	心神喪失者等医療観察法施行 20 年を迎えての現状と課題 ～社会復帰調整官の役割に期待する要素～
No.2 10:30-11:00	石井智之	「精神障害を有する者等の性犯罪被害に関する研究」について
No.3 11:00-11:30	田中教仁	身柄付き補導委託の経験についての研究
No.4 11:30-12:00	安高真弓	刑事施設入所中の人にとっての「社会復帰」

【午後の部】会場：B 2 0 2（各20分報告＋7～8分質疑）

予定時間	報告者	題 目
No.5 13:30-14:00	岡本潤子	薬物依存回復訓練グループ・外部プログラムの効果の検討
No.6 14:00-14:30	須藤 明	刑事裁判における小児期逆境体験（ACEs）の評価と責任非難の減衰可能性：心理専門職の立場からの考察
No.7 14:30-15:00	岡田強志	少年調査票様式からみる「福祉」のかたち

■ ポスター発表 会場：B 2 0 5（在席責任時間9月28日(日)12:00～13:00）

	報告者	題 目
No1.	山脇望美	教育者における性に対する態度と性教育指導に対する認識について：性差に着目して
No2.	福正大輔	ホッとスペース中原の伴走型社会復帰支援から見えた“尊厳の回復”視点

■ Wifi ネットワーク

今大会では、ゲスト用 Wi-fi は配布しません。

なお龍谷大学では、eduroam をご使用いただけます。

■ クローク

今大会では、クロークの設置は致しません。お荷物の管理は各自でお願い致します。

■ 昼食

今大会では、会員向けのお弁当の販売は行いません。

なお大学内の生協等は、以下の時間にご利用いただけます。

	営業時間
生協食堂 （22号館地下2階）	9月27日（土）11:45～13:30 9月28日（日）休み
セブンイレブン龍谷大学店 （4号館地下1階）	9月27日（土）10:00～18:00 9月28日（日）休み
スターバックス龍谷大学店 （東門）	9月27日（土）10:00～17:00 9月28日（日）休み

一人の明日をつなぎ、社会の安心をつむぐ。

刑事施設に収容される受刑者のうち、
約50%が再入者であるという事実。
多くの人が社会に復帰している一方で、
出所後、「仕事」や「住居」を見つけられないために
再び罪を犯してしまうケースも少なくありません。

この負の連鎖を断ち切り、
新たな被害者を生まないために。
小学館集英社プロダクションでは、

一人ひとりと向き合いながら、
社会の一員として共に生きるために必要な力を養うための
教育プログラムを実践しています。

躓いてしまった誰もが、
もう一度社会とつながれる明日をめざして。
“矯正教育”を、社会の中で生きていくための“共生教育”へ。
私たちは誰もが安心して暮らせる未来をつくっていきます。

株式会社小学館集英社プロダクションは、2007年より全国5施設にて職業訓練、教育、分類、医療業務等を受託、運営してきました。刑事施設はまさに「社会の縮図」。よりよい未来社会の実現に向けて、刑事施設の運営から学んだ私たちの気付きを多くの方に発信したいと考え、矯正教育事業の公式HPを運営しています。

<http://www.shopro.co.jp/ce/>

矯正教育事業



誰もが安心して暮らせる未来のために。“共生のための教育”を形にしたワークブックを販売しています

これまで約15年以上にわたり矯正教育事業に携わってきた私たちが、「誰もが安心して暮らすための“共生教育”」を目指し、小学館グループならではのノウハウを活用したプログラムを開発しました。人がより良く生きていくためのヒントが凝縮された、自学自習も可能なワークブックです。ShoPro 矯正教育オンラインショップ base（アスエ）にて販売しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

<https://shoprokyosei.thebase.in/>



ネットショッピングサイトでのご注文の他、FAX注文も承っております。
詳しくは下記電話番号、メールアドレスにお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社小学館集英社プロダクション

ShoPro

TEL 03-3515-6779 FAX 03-3515-6881 E-mail kyosei@shopro.co.jp <http://www.shopro.co.jp/ce/>